



成瀬日記

日記

二十二

(15)
門類
50
119

大正十四年六月
成瀬 寄贈

安政六己未年正月

共五十七



正月大朔壬申
 二月小朔壬寅
 三月大朔辛未
 四月小朔辛丑
 五月小朔庚午
 六月大朔己亥
 七月小朔己巳
 八月小朔戊戌
 九月大朔丁卯

安政六年己未日記

正月大

元月壬申晴雪二日斗白

一、正月七日辰時、水ノ山ノ麓ニ至リ、
 六、七日、長嶺ニ至リ、
 七、八、九、十日、城高年ノ山ニ至リ、
 十一、十二、十三、十四、十五日、
 十六、十七、十八、十九、二十日、
 二十一、二十二、二十三、二十四、二十五日、
 二十六、二十七、二十八、二十九、三十日、
 三十一日、

但申次、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

一、丹波より南河内へ移る。此處に
以て内河内と云ふ。其處に七重井戸あり
一、西河内と云ふ。此處に河内と云ふ。此處に
河内と云ふ。此處に河内と云ふ。

間

一哲

山内川

名六

十平下
廿五下

船台

伊三三
永三三

六三三
下三三

金平

十人々々

幸三下

平仙

昭台河

十多
孫六

多七

海也

石橋

金命
平次五下

連柳子

衣惡

八三下

三六

居三下

多下

山内

四三三

多三下

四三下

多三下

十三下

居三下

居三下

多三下

伊三三

住吉店

九八中
金三下
米三下
山内

間

三三

止部方角

百飛

松三下

吉三下

米三下

善知寺

在二下
永三下
昌下

間

菊文

仁王

永三下

多三下

多三下

多三下

多三下

多三下

又左
米松
之他
陈

問
所

[illegible]

一、各處多產河魚及肉類如魚、蛇、
鼠、獾、獐、鹿、兔、二、人乳、
三、狗、
四、豬、
五、牛、
六、馬、
七、雞、
八、鴨、
九、鵝、
十、魚、
十一、肉、
十二、骨、
十三、皮、
十四、毛、
十五、血、
十六、精、
十七、髓、
十八、腦、
十九、心、
二十、肝、
二十一、脾、
二十二、肺、
二十三、腎、
二十四、膽、
二十五、胃、
二十六、腸、
二十七、膀胱、
二十八、三焦、
二十九、婦人經水、
三十、小兒疳積、

切りしものより多く上りて本邦に
移りしものより多く上りて本邦に

二月

此日由良の如く多しなりしものより多く上りて本邦に
移りしものより多く上りて本邦に

但此日由良の如く多しなりしものより多く上りて本邦に
移りしものより多く上りて本邦に

一昨日由良の如く多しなりしものより多く上りて本邦に
移りしものより多く上りて本邦に

三昨日由良の如く多しなりしものより多く上りて本邦に
移りしものより多く上りて本邦に

二昨日由良の如く多しなりしものより多く上りて本邦に
移りしものより多く上りて本邦に

利人より多く上りて本邦に
移りしものより多く上りて本邦に

石を多量に用ゐる事少く、以て石を多用す

皇位ハ三上皇^{神代}江中、松尾を以て己が封

と云ふ事、松尾を以て己の封と云ふ事、
五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}
五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

五月十日、^{此の時、松尾を以て己の封と云ふ事、}

後未決し解承幸死多暇有るを
以て、うゑ事々多き事多し依りて
内々事々多し中々事々多し
内々事々多し一類多し此類多し
新事多し事々多し事々多し

十月

新

十月二十

一海島中々事々多し何年之、中々事
於中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事

十月二十

一海島中々事々多し何年之、中々事
於中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事

十月二十

一海島中々事々多し何年之、中々事
於中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事

十月二十

一海島中々事々多し何年之、中々事
於中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事

十月二十

一海島中々事々多し何年之、中々事
於中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事
中々事々多し何年之、中々事

明 魏公隆
胡宗仁 山水合装

胡宗仁

明 成公 颖 畫 秋山瀑布景

合五幅

市河三溪中

市河三溪中

右册十日四寸 市河三溪中

市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中
市河三溪中 市河三溪中 市河三溪中
市河三溪中 市河三溪中 市河三溪中

市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中
市河三溪中 市河三溪中 市河三溪中
市河三溪中 市河三溪中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

頃十日右三寸三厘中 市河三溪中

その他は、それらに就いて、
ふたつに、
十一月十日

十一月十日
十一月十日

十一月十日
十一月十日

十一月十日
十一月十日

十一月十日

十一月十日
十一月十日

十一月十日

十一月十日
十一月十日

十一月十日

一 西坂よりなる後山新築より、民移居を
事務よりなるものあり、いふに、常々とて、
以て、民移居、近年、民移居、
とて、
十の

一 一、
十五の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

一 一、
十の

乃席自委而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之
 乃今委之而居之

